

## 政策Ⅰ 林業・木材産業の一層の産業力強化

主な施策の実施状況		主な目標指標の達成状況	
<p>①産業力の強化を図るため、川上側の高性能林業機械導入（生産性向上）を支援しているほか、川下側の合板・製材工場等の木材加工流通施設の整備（高付加価値化・競争力強化）を支援した。</p>  <p>フェラーバンチャ      フォワーダ      木材乾燥機</p>	<p>②林業のスマート化に向け、木材需給調整システムの開発・実証の支援、測量・苗木運搬用ドローン等の購入を支援した。</p>  <p>ICTを活用した木材需給調整システム（土場から出荷情報を入力するタブレット） 測量用ドローン</p>	<p>◎素材生産量 [年間]</p>  <p>令和2年度の目標値634千m<sup>3</sup>に対して、実績値で576千m<sup>3</sup>となった。</p> <p>○新型コロナウイルスの影響による一時的な減少はあったが、木材加工工場の設備投資や林業事業者の高性能林業機械の導入が進み、概ね目標値を達成している。</p>	
<p>③木材需要の創出を図るため、宮城県CLT等普及推進協議会と連携し、様々な場面での建築等におけるCLT活用に向けた取組を支援した。</p>  <p>県産CLTベンチ（仙台駅東口JRイーストゲートビル内）      CLT集合住宅      CLTを活用したブロック塀</p>	<p>④木質バイオマス利用の促進を図るため、地域森林由来の未利用材の運搬・搬出経費を支援した。</p>  <p>小型木質バイオマス熱電供給施設      木質バイオマスチップ</p>	<p>◎木質バイオマス活用施設導入数 [累計]</p>  <p>令和2年度の目標値57基に対して、実績値で64基となった。</p> <p>○再生可能エネルギーへの関心の高まりを背景に、施設導入数が増加し、目標値を上回る結果となった。</p>	
<p>⑤木材利用の促進を図るため、公共性の高い民間施設等における木質化や、県産材を使った木造住宅の建築に対し支援した。</p>  <p>県産材利用住宅</p>	<p>⑥森林経営計画の策定率向上に向け、森林所有者や林業事業者等による施業・経営の集約化を支援するとともに、林地台帳の整備支援や、市町村等との情報共有化を図るためのクラウドシステムを導入した。</p>  <p>森林経営計画作成に向けた打合せ</p>	<p>◎森林経営計画の策定率 [累計]</p>  <p>令和3年度の目標値40%に対して、実績値で27%となった。</p> <p>○人工林が利用期を迎え、主伐が進む一方、主伐後に新たな計画策定が進まず、目標値を大きく下回った。</p>	

## 政策Ⅱ 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮

主な施策の実施状況		主な目標指標の達成状況	
<p>①森林の二酸化炭素吸収機能や水源涵養機能などの公益的機能を高度に発揮させるとともに、旺盛な木材需要に応えていくため、間伐や路網整備を支援した。</p>  <p>高性能林業機械による間伐      間伐後の森林</p>	<p>②人工林伐採後の再造林を推進するとともに、造林コストの低減を図るため、「伐採と造林の一貫作業システム」の普及などに取り組んだ。</p>  <p>一貫作業システム検討会      防鹿柵設置</p>	<p>◎間伐実施面積 [年間]</p>  <p>令和2年度の目標値5,600haに対して、実績値で3,366haとなった。</p> <p>○人工林の約8割が本格的な利用時期を迎えてきており、間伐が真に必要な林分は限られつつあるとともに、集約化等による間伐の低コスト化も十分に図られていない。また、労働力不足も要因と考えられる。</p>	
<p>③松くい虫被害から特別名勝「松島」地域等の重要な松林を守るため各種防除対策を推進している。また、被害跡地に松くい虫抵抗性マツを植栽し松林の再生と景観保全を図った。</p>  <p>抵抗性マツ植栽</p>	<p>④山地災害の未然防止や、令和元年東日本台風で被災した森林等の復旧のため、治山対策を計画的に推進した。</p>  <p>治山施設（治山ダム）      治山施設（山腹工）</p>	<p>◎松くい虫被害による枯損木量 [年間]</p>  <p>令和2年度の目標値13,453haに対し実績値は10,151haと上回っている。</p> <p>○気象条件によっては再び増加に転じるおそれもあることから、引き続き市町村等と連携しながら防除対策を徹底し、更なる被害の低減を図っていく必要がある。</p>	
<p>⑤木材の搬出、林業専用道の開設、高性能林業機械による伐採、コンテナ苗による造林、治山施設（治山ダム）、治山施設（山腹工）</p>  <p>間伐材の搬出      林業専用道の開設      高性能林業機械による伐採      コンテナ苗による造林      治山施設（治山ダム）      治山施設（山腹工）</p>	<p>⑥森林経営計画の策定率向上に向け、森林所有者や林業事業者等による施業・経営の集約化を支援するとともに、林地台帳の整備支援や、市町村等との情報共有化を図るためのクラウドシステムを導入した。</p>  <p>森林経営計画作成に向けた打合せ</p>	<p>◎山地災害危険地区（Aランク）の治山工事着手率 [累計]</p>  <p>令和2年度の目標値51%に対し実績値は49%となっている。</p> <p>○近年自然災害が頻発化・激甚化しており、その都度被害箇所を山地災害指定地区に指定していることから、Aランク地区数の母数は増加している。</p>	